

総合科学技術会議 評価専門調査会  
「気候変動問題対策二酸化炭素削減技術実証試験」  
評価検討会(第2回)議事概要

日 時： 平成20年10月27日(月)17時～19時  
場 所： 中央合同庁舎4号館 共用第4特別会議室(4階)  
出席者： 中杉座長、奥村議員、本田委員、飯嶋委員、松橋委員  
欠席者： 薬師寺議員、田淵委員  
事務局： 岩橋審議官、原沢参事官、天野参事官他  
説明者： 経済産業省 産業技術環境局 環境ユニット 地球環境技術室長 三橋室長、渡辺室長補佐、根岸室長補佐、資源エネルギー庁 資源・燃料部 石炭課 権藤課長補佐

議 事： 1. 評価検討会の進め方について  
2. 経済産業省からの追加説明と質疑応答  
3. 討議

(配布資料)

- 資料1 経済産業省への追加説明依頼項目
- 資料2 総合科学技術会議評価専門調査会「気候変動問題対策二酸化炭素削減技術実証試験」評価検討会(第2回)資料
- 資料3 「評価の論点(案)」のたたき台

(参考資料)

- 参考1 総合科学技術会議が実施する国家的に重要な研究開発の評価について
- 参考2 総合科学技術会議 評価専門調査会 名簿

(机上資料)

- 第1回評価検討会配付資料
  - 資料2-1 総合科学技術会議評価専門調査会「気候変動問題対策二酸化炭素削減技術実証試験」評価検討会(第1回)資料
  - 資料2-2 経済産業省「平成21年度予算概算要求等に係る事前評価書」より抜粋 事前評価書
- 科学技術基本計画 (平成18年3月29日)
- 分野別推進戦略 (平成18年3月28日)
- 環境エネルギー技術革新計画 (平成20年5月19日)
- 低炭素社会づくり行動計画 (平成20年7月29日)
- 国の研究開発評価に関する大綱的指針 (平成17年3月29日)

## 議事概要：

### 1. 経済産業省からの追加説明と質疑応答

#### 追加説明依頼項目に関する説明

資料1の追加説明依頼項目それぞれについて、経済産業省より資料2に基づいて説明があった。

#### 質疑応答

経済産業省の説明に対し質疑応答が行われた。主な項目を以下に示す。

- ①実施地点の選定に先立って策定された全体計画の内容については、説明が具体性に欠ける。これは、今後選定される実施地点によって条件が大きく変わるため。
- ②計画期間後の貯留とモニタリングの継続について、事業実施期間以降の貯留とモニタリングはいつまで実施するのか。稼働期間はコストの妥当性を評価する上で重要だが、これをどう想定しているか。5年の計画期間は予算上の評価の仕切りによるもので、技術的に可能な範囲で継続することが望ましいと考える。
- ③二酸化炭素回収貯留(CCS)の国内実証の意義については、CDMや産業振興というより、国内排出削減がねらい。日本で確立した技術で海外と連携して削減することを見据えて進めるべき。
- ④進行管理と見直しについては、有識者による検討会の検討や評価委員会の評価を踏まえて、産業技術環境局地球環境技術室で行う。

### 2. 討議

経済産業省からの説明、および質疑応答を受けて、以下の観点より討議が行われた。

CCS技術の実用化に向けた全体の取組を明確にすべき

本実証試験を実施する意義を明確にすべき

実施地点の選定後における実施計画の見直しに関し、その技術内容の適切性や投入資源とその効果(処理する二酸化炭素量)から見た経済性などに関し、適切に検証した上で事業を実施すべき

CCS技術については、諸外国でも実証試験が進められており、それらとの連携協力を図るべき